

プロフィール



氏名 ククリット プラモート
(Kukrit PRAMOJ)

生年月日 1911年4月20日生

国籍 タイ

ククリット・プラモート氏は、1950年「サヤーム・ラット」紙を創刊し、経営者として、また編集者、論説主幹として活発な活動を続けながら、自らも健筆をふるい、大衆の啓蒙に貢献した。作家としては、1951年の『王朝四代記』、以後『多くの生涯』、『赤い竹』を次々と発表。どの作品もタイ現代文学の傑作と高い評価を得ている。また、『赤い竹』は西欧十数ヶ国で翻訳され、大きな反響を呼び、同氏の名前を世界に知らしめた。

同氏は、作家、ジャーナリスト以外にも多彩な経歴を持っており、官界、財界を経て1947年政界入り、ただちに国務相に就任、翌年、時のピブン内閣商務副首相を務め、1975年には、第13代タイ国首相の座についている。このように、同氏は、政治家としても、数少ない文民首相としての経歴を経るなど、第一級の人物であると評されている。

また、同氏は、音楽演奏家、舞踊家、映画・舞台俳優等々としても才能を発揮し、多分野にわたる活躍を行っており、タイ国にとどまらずアジアにおける知識人の一つの在り方を示している。

主な作品

『王朝四代記 (シー・ペンディン)』1953 『多くの生涯 (ラーイ・チャーヴィット)』1954
『赤い竹 (パイ・デー)』1955